

東京音楽大学の特色あるプログラム

地域・社会貢献

小中学校との域学交流

シンフォニーオーケストラ合宿

長野県水内郡信濃町野尻黒姫高原

2019年8月29日～9月1日



夏期休暇中の後半に、シンフォニーオーケストラの合宿が行われました。場所は野尻湖を囲んだ豊かな自然が広がる黒姫高原（長野県水内郡信濃町野尻黒姫高原）。

合宿には120名を超える学生たちとオーケストラ授業の指導にあたるたくさんの指導陣、それを支えるスタッフと、今年のシンフォニーオーケストラ定期演奏会の指揮者・下野竜也特任教授が参加しました。

午前、午後、夜に集中的に組まれた合奏のほか、指導教員のもとで熱心に行われた分奏、また、休憩時間や就寝前のわずかな時間にも、寸暇を惜しんで練習に打ち込む学生たちの姿がありました。

本学は2011年に長野県信濃町と「信濃町癒しの森協定」を締結しており、地元の森林メディカルトレーナーと森に入って森林浴体験をするのもこの合宿の恒例イベントとなっています。心配された前日ま

で続いた雨もあがり、学生たちは全員で長靴を履いて森の中へ。地元の方たちとの交流や森の力で心身を癒し、また練習に戻りました。

合宿の最終日には「癒しの森コンサート」が行われ、町民の皆さまに合宿の成果を披露しました。

合宿が終わっても練習は 11 月 29 日に東京芸術劇場で行われる定期演奏会に向けてさらに続きます。一段と磨きがかかる定期演奏会にどうぞご期待ください。

▶ [2019 年 11 月 29 日 \(木\) シンフォニーオーケストラ定期演奏会 詳細はこちら](#) ◀

♪ 合宿中の下野竜也特任教授にインタビューしました



● ジュニアオーケストラの楽しかった思い出

合宿の思い出といえば、高校生まで入っていたジュニアオーケストラの合宿です。毎年夏に鹿児島県の霧島と指宿で行われていました。大きなお兄さんたちと一緒に寝転がったりした楽しい思い出があります。

● コミュニケーションが深まる有意義な時間

東京音楽大学のオーケストラが合宿を行っていることはずいぶん前から聞いていました。昔にやっていたという

学校はありますが、途絶えることなく今も続いている学校は珍しいですね。

日常から離れて音楽だけに集中できる環境は素晴らしいです。このように多くの先生が携わっておられてアットホームな雰囲気もいい。こういうなかで演奏会に向かっていけるというのはほかの学校はなかなかできないことだと思います。

日常生活ではあり得ない合宿では、24 時間先生や仲間たちと一緒にいられるわけで、コミュニケーションが取りやすくなりお互いの理解も深まっていくと思います。オーケストラの授業だけでなく、学生生活にとっても有意義な時間ですね。

● 秘めているものをもっと積極的に出せばいい

東京音楽大学のオーケストラに来たのは 14 年ぶりです。学生もあの時とは違うのでお互いにはじめてという感じで緊張していたところもあったと思いますが、かまえてしまっているというか、思っていたよりも大人しいという印象をうけました。でも秘めているものがあると思います。音楽に取り組むときに、自分たちでなにかやろうというのをもっと積極的に表に出したら、先生たちももっと燃えると思うし、どんどんいいものができていきます。この学校の先生方はきめ細かい指導をされていて、本当に熱心です。せっかくこんないい学校にいますからそれを使わない手はないと思います。

下野先生は、柔らかい物腰のなかにも力強さを感じさせる言葉を一つひとつ丁寧に選んで話してくださいました。

♪ 合奏の様子



♪ 癒しの森体験





取材：広報課